



基幹道路の整備について

町民の皆さんが待ちに待った
県道島田吉田線バイパス（片岡
工区）が11月11日の午後3時を
もって開通し、東名吉田イン
ターチェンジを出てから国道1
50号まで一直線に片側2車線
の新しい道路が延びました。

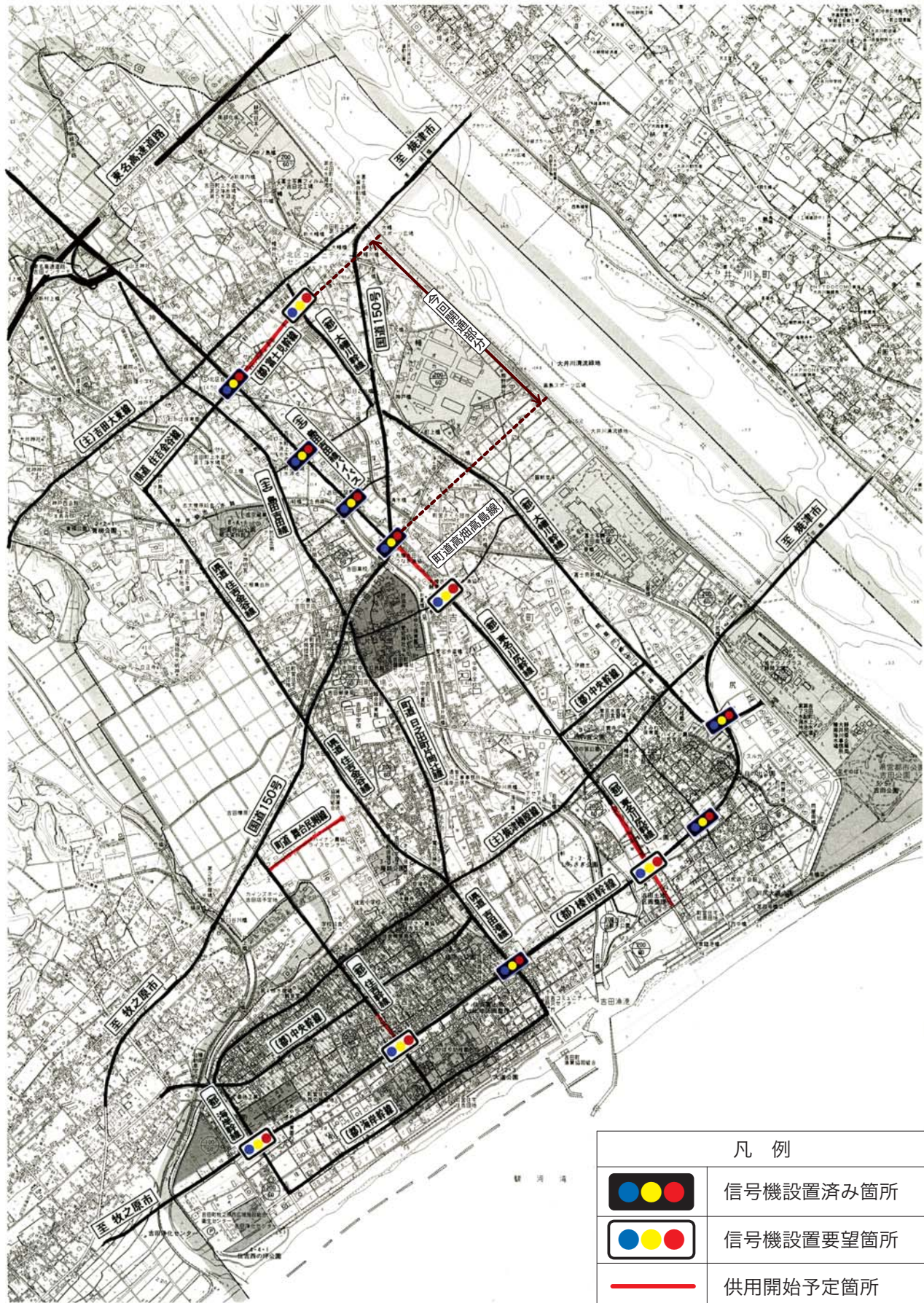
開通に先立って午前11時から
式典が執り行われ、私は主催者
の一人として『吉田町の発展が
新しいステージに昇った』と式
辞の中で述べました。あいにく
の雨が降りしきる中での開通式
でしたが、式場のテントは平成
27年度末に開通の予定されてい
る富士見幹線との交差点からほ
んのわずかに北に立てられました。
その交差点に立ち、一方では、
はるか南を目指して一直線に片
側2車線の真新しい道路が走り、
他方では、はるか東を目指して
一直線に道路工事が行われてい
る様子が見て取れました。

左頁の道路地図をご覧ください。
今回の県道島田吉田線の開
通部分には、国道150号まで
4カ所に信号機が設置されたも
の、国道150号から南に伸
びる東名川尻幹線では町道高畑

高島線との交差点に信号機の設
置が間に合わず、国道150号
から町道高畑高島線までの区間
が未開通となっています。この
交差点に信号機が設置され、ま
ず県道焼津榛原線までが開通し、
次いで、それより南の赤線部分
の工事終了を待って平成27年度
末に榛南幹線まで延伸すること
になります。この時点で、本町
を県道島田吉田線・東名川尻幹
線が南北に、榛南幹線が東西に
それぞれ基幹道路として貫くこ
とになります。

新たな都市環境の 創造について

3年前の東日本大震災の惨状
を目の当たりにして、本町を
襲ったピンチをチャンスに換え、
3・11で失われた本町の安全を
再び取り戻し、これを機会に一
気に『新たな吉田町の礎』を築こ
うと心に固く決心しました。3・
11の東日本大震災を境として
『危急存亡の崖っぷち』に立たさ
れた本町を崖っぷちから遠ざけ、



凡 例	
	信号機設置済み箇所
	信号機設置要望箇所
	供用開始予定箇所

町長からのメッセージ 120

ピンチをチャンスに



安全が担保され、町民の皆さん
が安心して生活し、企業の皆さん
が安心して生産活動にいそし
み雇用の機会が確保され、人が
増え続ける豊かで勢いのある町
の創造に己を賭けました。

東大地震研究所に津波ハザード
マップの作製を、中央省庁に
官僚の派遣と津波避難タワーの
設計をそれぞれ依頼して確実な
データに基づく津波防災まちづ
くりの行程を組み立て、その財
源を国に求め、まちづくりの具
体的な事業を都市防災総合推進
事業と位置付け、津波避難タ
ワーの建設、防災公園の建設、
中央公民館の耐震補強、すみれ
保育園の改築、人材活用セン
ターの改築、各消防団詰所の全
面改築、富士見幹線・舞台民
線・住吉幹線などの道路整備を
実施し、今、町の装いが大きく
変わろうとしています。

これらの都市防災総合推進事
業の進展に合わせ、(株)ヤマザキ
が津波浸水地域に進出しました。
南海トラフでの巨大地震による
津波浸水地域への優良企業の進
出は、(株)ヤマザキ以外には聞い
たことがありません。これも本
町の津波防災まちづくりの大き
な成果だと自信を深めています。